

# 無為無策の菅政権やめさそう

11日の近畿いっせい宣伝は、大阪がコロナ感染拡大のため「いっせい」としては行いませんでしたが、衆院比例・選挙区予定候補を先頭に317カ所で1068人、17.1%の党支部、206人の地方議員が参加して2318枚のビラを配布しました（大阪は集約せず）。「コロナ」に無策、学術会議人事介入、75歳以上の医療費2割負担など冷酷・強権の菅政権への大きな怒りが寄せられました。



南海和歌山市駅前前で訴える坂口多美子市議

近畿ブロック事務所には京都市伏見区で近畿民報を受け取った人から「分かりやすいビラ。またこういうのをやってください」という電話が入りました。奈良・西田原本では通りがかった人が「日曜版」を申し込みました。

- 初老の男性「学術会議人事介入など菅政権は怖い。早く変えないとアカン！」（滋賀・新八日市）
- 「75歳以上の医療費2割負担の暴挙許すな」の訴えに反応が出ている（京都・左京）
- ビラを受け取った男性（62）が「医療関係で働いている。神戸でも病院のクラスターが増えて、このままでは大変なことになる。『GoTo』は早くやめてほしい。頑張ってください」（神戸西）
- 通りがかった女性（72）「『GoTo』なんてやってる場合じゃない。共産党さん、住民投票ではありがとう」

## 京都学術会議問題で緊急国会報告

こくた氏「時代の分水嶺。党の存在意義かける」

松宮氏「欠員6年間。違法状態が問われ続ける」

学術会議任命拒否・人事介入問題の「緊急国会報告会」（党京都府委員会主催）が12日夜、京都市中京区で開かれ、こくた恵二衆院議員と任命拒否の当事者である松宮孝明・立命館大学教授が報告しました。

こくた氏は、「野党が共同して果敢に対応したこと、単に学術会議だけの問題でなく、全国民に関わる問題であり、恩恵を受ける世界の人々に関わる問題」と位置づけたことが重要だったと強調しました。その上で、志位和夫委員長が予算委員会を持ち時間のすべてを使って全面的な追及を行ったことも紹介。「菅総理の答弁は総崩れした」とのべ、「科学を政治の僕（しもべ）としてはならない」と強調。「時代認識」について「全体主義の道に行くのか、民主主義か、いま時代の分水嶺に立っている」「反戦・平和のためたたかい抜いた党として、党の存在意義をかけてたたかいたい」と決意を述べました。

松宮氏からは、学術会議の「連携会員」として12年間たずさわった経験に基づき、学術会議の果たしている役割を具体的に紹介、ネット上も含め流布されている誹謗中傷、ウソとフェイクの一つひとつに丁寧にコメントしました。

松宮氏は、「学術会議法7条の規定では、6人の会員が欠けている状態は明らかな違法状態。この状態は、最大で6年間続くことになり、問題は問われ続けることになる」とし、「学問の自由と大学の自治が鋭く問われ続けてきた京都の地から大いに議論と運動を広げよう」と呼びかけました。



### 20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 67(2020. 12.13)